



# 無症状陽性者早期発見へ 県が初めてPCR検査

## 議員団の主張みのもる 無症状陽性者 感染力大

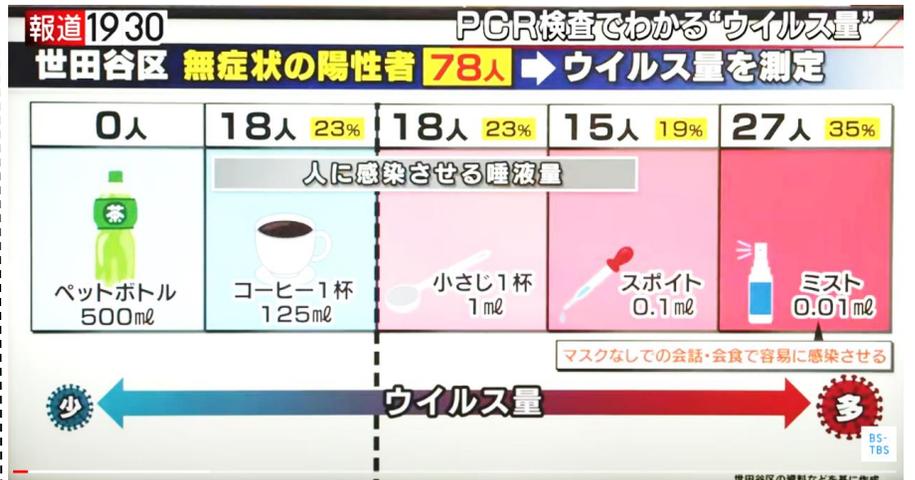
●5月26日から感染レベルを特別警戒に引き上げ、「感染防止を最優先

していくという事に判断の主軸を切り替えていかねばならない」と、それまでの取組み姿勢の見直しに浜田県知事が言及。感染経路不明の感染者比率が34.1%と増加傾向であることを受け、無症状者を対象とする予防的検査実施を言明し、6/3から4日間、中央公園で飲食関係限定とはなりましたが初の無症状者のPCR検査が実施されました。

●無症状の陽性者の感染力は非常に強く、早期発見、保護は、感染抑止に有効です。

5月4日にBS-TBSで放送された「報道1930」は、政府が実施を敵視してきた「無症状者へのPCR検査」を全国に先駆けて実施してきた世田谷区の検査結果をもとに無症状者でも強い感染力を持っていると報道しています。(右上写真)

【無症状陽性者の感染力ー世田谷区の調査をもとにBS-TBS「報道1930」作成の映像より引用】



- ①「スーパースプレッダー」（無症状者の35%）  
わずか0.01mlの唾液が飛ぶ（ミスト＝噴霧状）  
ことで感染させてしまう感染力！
  - ②「スプレッダー」（無症状者の19%）  
0.1mlの唾液量（スポイト）で感染させる
  - ③「スプレッダー」（無症状者の23%）  
1.0ml（小さじ一杯）で感染させる  
無症状陽性者の実に77%が感染力を持っていることが示されました。
- 国が初期より予防的検査を拡大し早期発見に努めていけば、感染状況は大きく変わっていたのではないのでしょうか。県が次にすべきは、高齢者施設や医療機関、保育園などへの定期的、予防的検査の実施、そしてワクチンのスピード化です。

PCR検査陽性率の推移  
(県・高知市の行政検査+医療機関の臨床検査)

期間	陽性数	検査数	陽性率
4月26日 ~ 5月2日	78	1461	5.3%
5月3日 ~ 5月9日	53	1421	3.7%
5月10日 ~ 5月16日	30	1348	2.2%
5月17日 ~ 5月23日	116	1624	7.1%
5月24日 ~ 5月30日	182	2055	8.9%
5月31日 ~ 6月6日	152	2045	7.4%

レベルです。今回、中央公園実施の無症状検査を受けた1,020人の陽性率はこの検査対象者と条件が異なりますので、これには含めず、別途、後日となります。



●依然高い陽性率  
県の健康対策課にお願いし陽生率を期間ごとに一覧できる表を作成してもらいました(6月7日時点)  
陽性率が5%以上で「特別警戒」(現在のステージ)10%以上が「非常事態」